

パネルディスカッション：
情報学から読み解く10年後の”学び”

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-11-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/10478

人工知能、ビッグデータ、IoT... いま、世の中には、情報技術の急速な発展を象徴する言葉に溢れています。人工知能が私たちの職を奪うという警鐘も唱えられ、10 年後の未来では、この世界で活躍するために学ぶべきことも大きく変わっていることが予想されます。

この急速に革新する世界のなかで活躍し続ける人材を輩出していくことが我々情報学部の目標であり使命だと考えます。本シンポジウムの演者、コーディネータ、そして会場のみなさまと、情報学をキーワードに 10 年後の未来の “学び” の在り方を議論したいと思います。

コーディネータ紹介



高口 鉄平

(静岡大学情報学部情報社会学科・准教授)

略歴

九州大学経済学部経済工学科卒、同大大学院経済学府博士後期課程修了、博士(経済学)。総務省を経て、現職。総務省情報通信政策研究所特別研究員、日本経済研究センター特任研究員。内閣府委託調査「生産性向上に向けた企業の新規技術・人材活用等に関する検討会」委員等を歴任。

専門分野/研究テーマ

経済/経営戦略/政策、パーソナルデータ、IT/ICT、OTT/IoT

主要業績

- 高口 鉄平『パーソナルデータの経済分析』勁草書房、2015.
- Teppei Koguchi・Toshiya Jitsuzumi ” Economic Value of Location-based Big Data: Estimating the Size of Japan's B2B Market” , Communications & Strategies, No.97, pp.59-74, 2015.
- 内閣官房 IT 総合戦略室 データ流通環境整備検討会 AI、IoT 時代におけるデータ活用ワーキンググループ報告、高口鉄平「パーソナルデータの経済価値分析について」、2016.